

# 無印、サステナ商品

## 銀座に続き明治神宮前駅に

良品計画が環境に配慮した商品を中心に取り扱うポップアップストア(期間限定店)を出店している。2022年12月に東京・銀座に1店舗目を出したほか、23年3月には東京・原宿にも出店。植物由来の素材を使った日用品などを取りそろえる。環境に対して取り組み姿勢を打ち出し、商品の認知拡大を狙う。

東京メトロの明治神宮前駅の地下に今月10日、「無印良品 明治神宮前メトロピア」がオープンした。出店は1年間の期間限定で、売り場面積は約90平方メートル。同社が販売

する商品のなかでも特に環境に配慮したものを中心に取り扱う。

農業や化学肥料を使わずに自生し、成長が早いことなどから環境への負荷が少ないとされる竹を使った収納用品や、洗浄に続く2店舗目。



ポップアップストアでは洗剤やシャンプーなどを量り売りで販売する



良品計画「ストア」

## 農家支援、バラで6次化・E C推進

【さいたま】食用バラの生産や関連商品の販売を手掛けるローズラボ(埼玉県深谷市)は、農業の「6次産業化」をめざす農家の支援、中国向けの電子商取引(E C)など事業を多角化する。特にE S G (環境・社会・企業統治)、S D G s (持続可能な開発目標)を意識した環境配慮型の商品や事業を展開し、需要を掘り起こしたい考えだ。

ローズラボは2015年の設立以来、深谷市での食用バラの栽培だけでなく関連食品・化粧品の開発・加工、製品販売までを一貫して手掛ける6次産業化に取り組んでおり、東京・六本木にも事業拠点がある。

新型コロナウイルス禍でイベント向けのバラの需要が減少するなど厳しい環境にあったが、コロナによる事業への影響が緩和してきたことから、3月以降に農家の6次産業化支援を本格化させる。

全国で食用バラの生産農家を増やすため、同社が協力農家から食用バラ全量を買取り、商品に使用する仕組みなども今後構築する。

中国向けのE Cでは取引先である伊勢丹新宿店(東京・新宿)などと連携し、



ローズラボはバラの生産から化粧品などの製造販売まで「6次産業化」に取り組んできたノウハウを生かし、農家の支援事業に取り組む

同社が製造する無農薬バラを使った環境・自然配慮型の化粧品を販売する。田中綾華社長は「農業は6次産業化まで含めると大きな可能性を秘めた産業だ。環境への意識の高まりを踏まえ、事業を展開したい」と話している。

## 京急バス、小型E Vを2台導入



表板と中の木組みに能登ヒバを使った京急バス

【横浜】京急グループの京急バス(横浜)は、路線バスの運行に小型の電気自動車(E V)バスを2台導入した。京急本線の上大岡駅(同市港南区)から東側の住宅地区を循環する路線で運行する。現在運行しているディーゼルバスに比べ、騒音や振動を抑えることができ、今回の2台導入で年間60トンの二酸化炭素排出量の削減につながる見込み。脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進める。

中国・比亞迪(B Y D)の日本法人から小型E Vバス「J 6」を導入。車長7.7メートル、車幅2.4メートル、乗車定員は29人。有害物質とされる六価クロムを使用した部品は交換対応などを済ませて運行や利用状況を確かめながら他の路線でも導入を拡大したいという。

## アルミ缶をアート皿にアップサイクル



ホテルの廃アルミ缶を、金森合金の精錬と鍛造技術でアップサイクルする



ハイアットセントリック金沢では、関連施設を含め年間10万本のアルミ缶入り飲料水を使用する

## 金沢のホテルと、皿作り体験も

円から。4月初旬から9月末の好きなタイミングで食事の工場見学を体験できる。

金沢合金は江戸時代から300年以上、鍛造を手にかけている。創業者は加賀藩主・前田家に技術を認められた鍛冶師で、ヤリなどの武器や銅鐸(どうたく)などを納めていたという。武器や日用品など不要になった金属を回収しては精錬し、再び新たなものづくりに活用する循環型の金属製造業を継承しており、現在は自動車やロボット部品、マシンホールや防災用品など様々な産業部品を製造している。

「加賀藩から続く循環型のものづくりを知ってもらいたい」(金沢合金24代目的高下裕子さん)と今回のツアーを考案した。ハイアットセントリック金沢も「サステナブル



能登ヒバを使ったサーフボード

【金沢】木製家具などを手がけるG T Design(石川県かほく市)は、同県の能登半島を中心に分布する能登ヒバを使ったサーフボードを開発、2024年から受注生産を始める。中空の構造で、精度の高い木組みで強度を確保した。地元木材の販路開拓に役立てたい。

木材卸のフルタニランバー(金沢市)と連携した。同社が持つ木材の高速乾燥技術を活用し、能登ヒバ材の品質を安定させたうえで木組みに使った。サーフボードは樹脂

## サステナビリティー

800度の高温で溶かしながら、インクなど表面に浮き上がってくる不純物を丁寧にすくい、純度の高いアルミ素材にして、蓋置き皿、エッグスタンドなどの食器に成形して貰う。

小皿なら缶7本、大皿なら缶6本ほどでできるといふ。完成した皿は再びハイアットセントリック金沢のレス・ものづくり体験ツアーとして、今春から販売する。精錬工場を見学したり、自分のオリジナル料理を提供する際に使う。

## 能登ヒバを使ったサーフボード

【金沢】木製家具などを手がけるG T Design(石川県かほく市)は、同県の能登半島を中心に分布する能登ヒバを使ったサーフボードを開発、2024年から受注生産を始める。中空の構造で、精度の高い木組みで強度を確保した。地元木材の販路開拓に役立てたい。

木材卸のフルタニランバー(金沢市)と連携した。同社が持つ木材の高速乾燥技術を活用し、能登ヒバ材の品質を安定させたうえで木組みに使った。サーフボードは樹脂

**新発売**

# ホタテの粉砕機

環境に配慮した粉砕機

**生活排水処理システム**

新浄化装置は生活雑排水(風呂、台所、洗濯)専用の浄化装置です。分けて処理することで下水道不要の住環境を提案します。

**駆除シカの分解処理装置**

①駆除シカ(駆除した動物)をそのまま投入できる

**SDGs** 持続可能な未来のために

**知的財産権** ・特許19件 ・意匠33件・商標6件

**受賞**

- 環境大臣表彰
- 発明協会 会長賞
- 特許庁長官表彰
- 経済産業大臣表彰
- 第33回優秀環境装置表彰
- 2009年元気なモノ作り中小企業300社認定

**ブランディング、マーケティング、リクルーティングにも社史は有効**

# 経年